

てんえい

議会だより

No. 153

令和3年4月27日発行

主な内容

- 令和3年3月定例会 …… P2～6
- 3議員が一般質問 …… P7～10
- 村議会・議員の活動 …… P11～12

内容は12ページ記事をご覧ください。

3月定例会 [会期] 3月9日～16日まで

令和3年3月定例会では、令和3年度予算や条例制定など50件が提出され、審議の結果、全議案が可決されました。

また、2件の陳情を審議、1件を採択とし、議員発議案1件が可決されました。

本定例会では、3名の議員が一般質問を行い、新型コロナウイルスのワクチン接種や小中学校の統合などについて問いました。

PickUP!!

議案第37号 令和3年度天栄村一般会計予算について

歳入歳出総額44億1,000万円

可決

一般会計予算総額	44億1,000.0万円 (前年度比0.5%増)
※うち放射能対策事業等を除いた額	37億2,338.0万円 (前年度比0.4%増)
※うち新型コロナウイルス対策事業等を除いた額	36億7,569.7万円 (前年度比0.8%減)
特別会計(13会計)予算額合計	18億2,209.0万円 (前年度比3.6%増)
水道事業会計予算	
収益的収入及び支出	収入・支出 1億4,091.8万円
資本的収入及び支出	収入 5,512.3万円
	支出 1億5,297.0万円



子宝祝金は第1子から10万円が支給されます

新年度事業の 予算内訳

新年度予算は
第五次総合計画の
5つの基本目標のもと
予算が組まれています。

安全・安心な 環境づくり

予算総額
10億2,235.7万円

- 快適に暮らせる住環境の整備
2億1,599.8万円
- 安心安全に暮らせる環境整備
7億6,037.4万円
- 豊かな自然環境の保全と活用
4,598.5万円

みんなで支え合い 築く健康づくり

予算総額
5億5,095万円

- 生涯にわたる心と体の健康づくり
1億6,536.1万円
- 地域で支え合う福祉の充実
1億8,947.8万円
- 安心して子育てできる環境整備
1億9,611.1万円

地域を活かした 産業づくり

予算総額
3億8,404.1万円

- 活力ある農林業の推進
3億1,806.6万円
- 地域経済活性化の促進
968.3万円
- 地域資源を活用した観光の振興
5,629.2万円

心豊かな人づくり

予算総額
2億2,927.2万円

- 子どもたちの生き抜く力を育む環境整備
1億9,357.6万円
- 誰もが夢をもてる生涯学習社会
2,779.8万円
- 豊かな心を育むための文化振興
789.8万円

未来につなぐ 村づくり

予算総額
5億7,917.1万円

- 村民と行政の協働体制づくり
2,576.9万円
- 実行力のある行財政運営と
連携の推進
5億5,340.2万円

新年度の主な事業

新年度予算は、前ページでご紹介した5つの基本目標を中心に予算編成が行われています。
新年度行われる主な事業の概要は、次のとおりです。

感染症予防

- **新型コロナウイルスワクチン接種事業**
集団接種と個別接種の2つで対応する予定で、準備が整い次第、接種を開始する



防犯・防災

- **防災備蓄倉庫整備（ふるさと公園）**
道の駅季の里天栄周辺で造成工事を進めているふるさと公園に防災備蓄倉庫を整備する



農業・観光

- **新規就農者支援センター補助金**
新規就農への準備を補助する
- **着地型誘客促進事業業務委託**
教育旅行に向けたモニターツアー等を実施する

子育て

- **学校給食費等補助金**
小中学生の給食費を3分の1補助する
- **小学校英語検定手数料**
小学5・6年生が無料で5級の英検を受験できる

令和3年第1回臨時会の議案審議結果

期日：3月29日

令和3年3月29日に開会された第1回臨時会において、2議案について審議され、原案どおり可決となりました。

可決

案件	番号	事 件	内 容
議案	1	天栄村災害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について	被災者生活再建支援法の改正に伴う住家の被害認定区分が変更されたため、村災害見舞金の支給要件の区分を改正 ※一部損壊・準半壊・半壊・中規模半壊・大規模半壊・全壊の6区分に細分化
議案	2	令和2年度天栄村一般会計補正予算について	歳入歳出6,202.2万円追加 福島県沖地震にかかる被災箇所の災害復旧等を実施するため

主な議案審議の内容

PickUP!!

議案第 2 号 天栄村議会議員及び天栄村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について

可決

提案理由

公職選挙法の改正に伴い、町村議会議員及び町村長選挙における選挙公営が拡大されたため条例を制定するものです。

- ① 町村議会議員の選挙における供託金制度の導入及びビラ頒布の解禁
- ② 町村議会議員及び町村長選挙における選挙運動用の自動車の使用及びビラ・ポスターの作成が公費負担となる。

ただし、当該候補者の供託物が没収となった場合は、公費負担とならない。

※ 供託物とは、村長選挙は 50 万円、村議会議員選挙は 15 万円を供託する。

ちなみに、供託物が没収となる票数は

- ・ 村長選挙 有効投票数の 10 分の 1 の数に満たない場合
- ・ 村議会議員選挙 有効投票数を議員定数で除した数の 10 分の 1 の数に満たない場合

PickUP!!

議案第 16 号 天栄村地域新エネルギー導入促進等基金条例を廃止する条例の制定について

起立多数により可決

提案理由

この基金条例は、村内の新エネルギー導入促進と利活用施設の整備に要する資金や天栄風力発電所の管理運営に要する資金を積み立てるため、平成 14 年 3 月に施行されました。しかし、令和 2 年 3 月に天栄風力発電所が運転を停止し、施設を廃止したことから、当該基金は目的がなくなり廃止するものです。



なお、当該基金は、基金廃止後、天栄村風力発電事業特別会計に繰り入れ、その後、一般会計に繰り出します。(令和 3 年 3 月 22 日から施行)

Q

【小山議員】

提案ですが、天栄村が 20 年かけて風力で積み立てた基金は、廃止しないで脱炭素社会や再生可能エネルギー等の構築のため残しておくべきだと思うが、村長の考えは？

A

【村長】

ご提案は十分に分かりますが、風力発電施設の廃止に伴い、一度一般会計の方に戻して、また新たに構築する場合には、議員の皆様にご説明しながら、方向性は決めてまいります。

【小山議員が反対討論】

この条例はこのまま残しておいて、新しいエネルギー政策に反映するべきだと思いますので、この議案には反対いたします。

表決の結果、賛成 5 人、反対 4 人により、原案どおり可決されました。

新年度予算への質疑と答弁

Q

【揚妻議員】

「大型特殊免許取得費用補助金」の助成は、いつからいつまで取得した方にするのか。

A

【産業課長】

令和 2 年 4 月 1 日より、道路運送車両法が運用見直しされ、一定基準を超える作業機を装着した農耕トラクターが公道を走行する際には、大型特殊免許が必要になりました。

補助期間は、原則令和 2 年 4 月から令和 4 年 3 月末までと想定していますが、法改正になることを見越して免許取得された方については考慮する予定です。

新年度予算への質疑と答弁

Q

【円谷議員】

「施設管理業務委託料」は、既存の建物に対して、管理されていなかったから新たに計上したものなのか。

A

【産業課長】

道の駅羽鳥湖高原の隣に併設されているトイレですが、今まで、道の駅の経費で管理していただいていたが、平成28年に改修工事をしたことにより電気料が多くかかるようになったこと等により計上したものです。

Q

【大須賀議員】

「結婚新生活支援補助金」とは、どういったものなのか。

A

【企画政策課長】

婚姻に伴う新生活の経済的負担の軽減を図るための補助金です。本村に転入または転居により結婚した方で、夫婦ともに年齢が39歳以下、住まいが本村にある世帯が対象となり、引っ越し費用等で、上限30万円となります。

Q

【廣瀬議員】

「中学生異文化体験授業委託料」は、来年から中学2年生が1泊ということだが、今までは日帰りで行っていたと思うが、変更になった理由は何か。

A

【教育課長】

中学2年生には、日帰りでは体験できない食事のマナーや宿泊施設での夜間も含めた雰囲気を中心に学習してもらいたいという考えからです。

PickUP!!

議案第24号 令和2年度天栄村一般会計補正予算について

一般会計補正予算(第9号)の総額から
歳入歳出 1億3,797.7万円を減額

可決

補正の主なもの

衛生費	● 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業委託 …………… 813.8万円
積立金	● 天栄村公共施設整備基金積立金 …………… 1億200万円 ● 財政調整基金積立金(元金) …………… 3億1,000万円
農林水産業費	● 機能保全計画策定業務委託 …………… 2,500万円
商工費	● 新型コロナウイルス感染症対策支援金 …………… 3,000万円
教育費	● 小学校空調機器改修工事請負 …………… 5,200万円

2件の陳情を審査、議員発議案により1件の意見書提出へ

陳情書2件を受け付け、委員会での審査の結果を踏まえ、本定例会において1件が採択となりました。

総務常任委員会

「20人学級」を展望した少人数学級の前進を要望する意見書提出の陳情について

採択

新型コロナウイルス感染症対策において有効である「社会的距離」を継続して行き、今後も感染症予防対策として恒久的に実施していくためには、更に踏み込んだ少人数学級にする必要があると考える。

【意見書の送付先】

内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣

産業建設常任委員会

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

不採択

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内経済が疲弊し、倒産を余儀なくされている企業が増加している。そのため本陳情の趣旨は理解するものの、このような状況下においては、まず企業を存続させ、雇用を維持しなければならず、そのためには賃金の引き上げを行う時期ではないと判断したため。

3月定例会その他審議結果一覧表

号	事 件	内 容	結果
1	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	任期満了に伴う委員1名の選任(星 國春氏)	同意
3	天栄村無線放送施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	既存の移動系アナログ通信設備を廃止したことに伴う所要の改正	原案可決
4	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	通勤手当額の改正及び職員の職階級ごとの職名変更	原案可決
5	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	会計年度任用職員の期末手当月数の改正	原案可決
6	天栄村特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	天栄村風力発電事業特別会計の廃止	原案可決
7	天栄村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	デジタル手続法の改正に伴う所要の改正	原案可決
8	天栄村子宝祝金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	支給要件を第一子からに拡充(10万円)	原案可決
9	天栄村ねたきり老人等介護者激励手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	介護者激励手当額の改正。介護者1人につき月額1万円から月額13,000円に増額	原案可決
10	天栄村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正に伴う所要の改正	原案可決
11	天栄村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年度からの介護保険料を改定	原案可決
12	天栄村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険関係法令の改正に伴う所要の改正	原案可決
13	天栄村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決
14	天栄村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決
15	天栄村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決
17	天栄村高齢者コミュニティセンター設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について		入浴施設の廃止に伴う所要の改正
18	天栄村村営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	大里地区の定住促進住宅1棟を払い下げたため所要の改正	原案可決
19	天栄村学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	給食センターから給食を提供する対象を村立の小中学校、幼稚園すべてに拡大	原案可決
20	天栄村デイサービスセンターの指定管理者の指定について	社会福祉法人岩瀬福祉会 理事長 正木 正秋 指定期間:令和3年4月1日から令和6年3月31日まで	原案可決
21	天栄村羽鳥湖畔オートキャンプ場の指定管理者の指定について	株式会社天栄村振興公社 代表取締役社長 田代 嘉宏 指定期間:令和3年4月1日から令和6年3月31日まで	原案可決
22	天栄村農林水産物直売食材供給施設の指定管理者の指定について	株式会社天栄村振興公社 代表取締役社長 田代 嘉宏 指定期間:令和3年4月1日から令和6年3月31日まで	原案可決
23	大平辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	光ファイバー等通信基盤整備事業計画を変更するため	原案可決
25	令和2年度天栄村国民健康保険特別会計補正予算について	歳入歳出977.7万円追加	原案可決
26	令和2年度牧本財産区特別会計補正予算について	歳入歳出21.6万円追加	原案可決
27	令和2年度天栄村工業用地取得造成事業特別会計補正予算について	歳出の補正	原案可決
28	令和2年度天栄村大山地区排水処理施設事業特別会計補正予算について	歳入歳出25.2万円減額	原案可決
29	令和2年度天栄村農業集落排水事業特別会計補正予算について	歳出の補正	原案可決
30	令和2年度天栄村二岐専用水道特別会計補正予算について	歳入歳出19.1万円減額	原案可決
31	令和2年度天栄村簡易水道事業特別会計補正予算について	歳入歳出2,703.8万円減額	原案可決
32	令和2年度天栄村簡易排水処理施設特別会計補正予算について	歳入歳出9.2万円減額	原案可決
33	令和2年度天栄村介護保険特別会計補正予算について	歳入歳出270.6万円減額	原案可決
34	令和2年度天栄村風力発電事業特別会計補正予算について	歳入歳出3億626.7万円追加	原案可決
35	令和2年度天栄村後期高齢者医療特別会計補正予算について	歳入歳出212万円減額	原案可決
36	令和2年度天栄村水道事業会計補正予算について	収益的収入及び支出 収入支出:505.8万円減額 資本的収入及び支出 収入:100万円減額 支出:461.6万円減額	原案可決
38	令和3年度天栄村国民健康保険特別会計予算について	事業勘定歳入歳出 6億9,030.1万円 診療施設勘定歳入歳出 5,089.2万円	原案可決
39	令和3年度牧本財産区特別会計予算について	歳入歳出287.3万円	原案可決
40	令和3年度大里財産区特別会計予算について	歳入歳出32.1万円	原案可決
41	令和3年度湯本財産区特別会計予算について	歳入歳出96.2万円	原案可決
42	令和3年度天栄村工業用地取得造成事業特別会計予算について	歳入歳出3,437.8万円	原案可決
43	令和3年度天栄村大山地区排水処理施設事業特別会計予算について	歳入歳出1,288.1万円	原案可決
44	令和3年度天栄村農業集落排水事業特別会計予算について	歳入歳出2億800.5万円	原案可決
45	令和3年度天栄村二岐専用水道特別会計予算について	歳入歳出223.7万円	原案可決
46	令和3年度天栄村簡易水道事業特別会計予算について	歳入歳出9,133.3万円	原案可決
47	令和3年度天栄村簡易排水処理施設特別会計予算について	歳入歳出171.1万円	原案可決
48	令和3年度天栄村介護保険特別会計予算について	歳入歳出6億7,172.2万円	原案可決
49	令和3年度天栄村後期高齢者医療特別会計予算について	歳入歳出5,447.4万円	原案可決
50	令和3年度天栄村水道事業会計予算について	収益的収入及び支出 収入支出:1億4,091.8万円 資本的収入及び支出 収入:5,512.3万円 支出:1億5,297万円	原案可決

村政を問う



令和3年3月定例会の一般質問は、3月9日に行われました。
天栄村議会の一般質問は、答弁を除く議員の発言時間を40分とした一問一答式のスタイルをとっています。
質問内容は抜粋となりますので、興味のある方は、会議録をご覧ください。
(天栄村ホームページ等で公開しています)

1 8番 熊田 喜八 議員 P8

- ① 新型コロナウイルスのワクチン接種について
- ② 天栄村小中学校の統合について

2 1番 北畠 正 議員 P9

- ① 行政区からの要望事項の実施について
- ② 新型コロナウイルスにより影響を受けた各種産業への支援について

3 3番 大浦 トキ子 議員 P10

- ① 「学校給食費の無償化」について
- ② 「小学校の統合」について

議会の豆知識

一般質問ってなあに??



「議会」は、住民の皆さんに代わって村の行財政の運営を監視する役割があります。

一般質問は、その議会を構成する「議員」に与えられた権利です。村の事務の執行状況や村の将来への考え方について報告や説明を村長に求めることができます。村民のための適切な村政運営が図られているか、質問を行っています。



1 新型コロナウイルスのワクチン接種について

議員

本村ではワクチン接種について、どのような対策や対応を考えているのか、またワクチン接種に係る医療スタッフの確保や会場の対策は、どのようなになっているのか、村民の皆様方が分かりやすいよう説明願います。

村長

村では2月1日より「天栄村新型コロナウイルスワクチン接種対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、職員や社会福祉協議会職員の計15名体制で対応にあたっています。

現時点では、先行接種である高齢者の方々の接種計画を作成し、村内医療機関と調整を重ね、接種可能な体制を整えておりますが、ワクチン供給の情報が流動的であるため、日程等を確定できない状況であります。



新型コロナウイルスワクチン接種対策プロジェクトチーム

接種会場については、村健康保健センター（へるすぴあ）での集団接種と湯本診療所および村内2つの医療機関をサテライト型接種施設として実施予定としております。

また、ワクチンの数が限られると想定されることから、それぞれの会場毎に電話等による予約を受け付けの実施とします。

さらにこの会場以外では、健康状態を把握している、かかりつけ医での接種が望ましいと考えています。

医療スタッフの確保については、村内各医療機関の医師や看護師に加え、村保健師、看護師等での対応を予定しています。

2 天栄村小中学校の統合について

議員

昨年行われた「天栄村小

中学校統合委員会」後の進捗状況はどのようになっていくのか、また、現在各小中学校へバス通学をしている児童生徒は何名で、村ではどのような対応をしているのか伺いたい。

村長

現在、委員会からのご意見を踏まえ、学校の敷地面積や新校舎の規模等について調査検討を進めているところであります。

本年2月には、実際に統合を行った、矢祭町教育委員会を訪問し、統合を決定してから新校舎開校までの経過などについて話を伺うとともに、矢祭小学校を見学し、施設や設備、避難所としての活用などについての説明を受けました。

来年度は「天栄村小中学校統合委員会」の委員の皆様と視察を行い、新校舎の建設に向け、引き続き検討を重ねたいと考えています。

教育長

本庁管内の62名が路線バスを利用し、湯本管内の7名がスクールバスを利用して通学しています。

路線バス利用者へは、定期券購入費の2分の1を補助しており、湯本管内では、地域ごとに金額を決定して、バス協力を負担いただいています。

なお、保護者負担となる今年度の年間最高額は本庁管内で2万4,210円、湯本管内で3万円となる見込みです。



バス通学の様子



1 行政区からの要望事項の実施について

議員

毎年、村に対して各行政区から改善事項や各種の要望事項が陳情され実施されている。それらに対しての実施状況と過去5年間の実施について伺いたい。

村長

行政区からの要望事項に

については、道路や水路の整備、防犯灯の設置など様々な内容があり担当課で現地確認等を行い、村で実施するもの、できないものを判断しています。

実施状況については、毎年継続の要望も含め、過去5年間で701件の要望に対し、実施済及び実施中302件、実施予定・検討中が237件、実施できないものが162件となっている。また、判断基準については、危険性や緊急性、公共性、必要性等を基準としている。村としては、村民と行政の協働を進めており、協働の里づくり交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用し、行政区で対応できるものについては、行政区で実施をお願いしたい。

議員

翌年度以降実施する件については、補助事業で実施できるか検討してできるだけ実施してほしい。



行政区から要望のあった敷砂利作業

総務課長

現地調査をして、具体的に可能か補助事業等考えて進めているが、緊急性が高いところから実施していきたい。

2 新型コロナウイルスにより影響を受けた各種産業への支援について

議員

新型コロナウイルスの感染者は減っている状況ですが、国内経済は疲弊し様々な業種が危機に瀕している。村内でも、米余りによる米

価の下落で農家経営も厳しい状況にあり、観光業については入込客が少なく旅館業をはじめ関連業者も苦しい経営をしている。そこで、各種産業を活性化させるため、村独自の支援と新年度においてもどのような支援を実施するのか伺いたい。

村長

影響を受けた各種産業への支援策として、前年からひと月の売り上げが20パーセント以上減少した事業主を対象とし、10万円の支援金を交付した。次に農業支援として、宿泊施設や飲食店が村内で生産された農産物を購入した際の購入額の1割を補助する「地産地消拡大応援補助金」や米価下落対策として、飼料米転換の推進助成金に新たに10万5千円当たり5,000円を上乗せし交付した。また、宿泊業については誘客促進施策として1泊につき、村民5,000円、村民外3,000円を補助する「泊まってエールキャンペーン事業」を行い、商工業については、商品券に20パーセントのプレミアムを付けた「コロナウイルス感染症対策商品券発行事業」を夏と秋に販売し、住民の消費喚起を図りました。さらに、全村民を対象に1人1万円の商品券を「生活支援商品券発行事業」として配付した。その他にも「雇用調整助成金申請費用補助金」や、「備品等購入補助金」の交付などの支援と、国、県補助金の申請相談や特別融資の相談窓口を商工会に設置し支援してきた。令和3年度にも有効な施策を講じていきます。



プレミアムを付けた商品券販売の様子



村長

小中学校の学校給食費につきましては、令和3年4月から3分の1を補助することとしており、令和3年度の補助額は約615万円です。

なお、幼稚園につきましては、令和元年10月から国の幼児教育・保育の無償化に合わせて、給食無償化を実施しており、令和3年度の補助額は約374万円であり、合計約989万円を見込んでおります。

1 「学校給食費の無償化」について

議員

「給食費の無償化」については、昨年の6月、9月、12月の定例会において一般質問をしたところ、「令和3年4月から実施を予定しております。」との答弁でしたが、4月からの助成する金額はいくらになるのか伺いたい。



給食の様子（牧本小学校）

2 「小学校の統合」について

議員

先の全員協議会において、村長から「小学校の統合」についての話が出されましたが、村民の方からは、「経費はどのくらいかかるのか。」と心配する声が多く寄せられております。そこで次の点について伺いたい。

①保護者のアンケート調査だけでなく、全世帯に対してもアンケート調査をするべきと思うが伺いたい。

②3月1日現在の小学校の児童数は何名か、また、5年後の児童数は何名くらいになるのか伺いたい。
③仮に小学校を新設する場合、土地の購入費や校舎及び体育館やプール等の建設費並びに備品購入費等はどのくらいを見込んでいるか、また、財源は

どうするのか伺いたい。

④建設する場所はどのあたりを予定しているのか、また、「スクールバス」も必要と思うが伺いたい。

村長

アンケート調査につきましては、「天栄村立小中学校のあり方検討委員会」及び「天栄村立小中学校統合委員会」において、保護者や教育関係者にアンケートを行うことが決定され、それらのアンケートの結果を基に、討議を重ねられ、それぞれの委員会において意見をまとめていただいておりますので、委員会のご意見を最大限尊重し、具体的な方策を決めて参ります。

小学校の児童数につきましては、本年3月1日現在、232名、5年後の令和7年度は、186名となる見込みであります。

現在、場所、敷地面積、校舎や体育館等の規模、さらには、建設に要する費用、



天栄村小中学校統合委員会の様子

財源につきまして調査検討を進めているところであります。

天栄村立小中学校統合委員会から新校舎の建設場所は役場周辺、もしくは天栄中学校と近い位置というご意見をいただいております。ご意見を踏まえながら検討しているところであります。

スクールバスにつきましては、建設場所と併せて検討して参ります。

▶ 公共施設のあり方検討委員会

令和3年2月4日、3月22日

今後の村公共施設のあり方を考える

天栄村公共施設のあり方検討委員会の第1回目は、2月4日に役場3階正庁で行われました。議会からは、服部議長と大須賀副議長が任命されました。

本村における将来的な人口減少や人口構成の変化などに伴う公共施設（学校、幼稚園、道路・橋りょう、上下水道を除く。）の需要動向等を見据え、施設の大規模改修または改築にあたり、転用、複合化または廃止等の今後のあり方を検討することを目的として、この委員会は設置されました。

委員長には天野和彦福島大学特任教授が選任され、公共施設の耐用年数や利用状況等を踏まえ、検討を進める施設を選定し、3月22日の2回目の検討委員会では、検討対象施設となった3施設について様々な意見が出されました。委員会は、11月頃までに意見をまとめ、村長へ方針を提言する予定となっています。



公共施設のあり方検討委員会

▶ 福島県町村議会議長会定期総会

令和3年2月25日

服部議長が自己紹介であいさつ

福島県町村議会議長会定期総会は、2月25日に福島市の自治会館で行われ、県内町村議会の議長が出席のもと開催されました。

総会では、新町村議会議長の紹介も行われ、服部議長が自己紹介を行いました。

議事では、会務報告、令和2年度補正予算、令和元年度決算、令和3年度会費分賦収入方法、令和3年度事業計画・会計等を審議し、いずれも原案どおり承認・決定され閉会しました。



福島県町村議会議長会定期総会

▶ 福島県沖地震被害調査

令和3年2月26日

全員協議会で地震の被害状況を調査

2月13日午後11時8分頃に発生しました地震による被害にあわれた方々におかれましては、心からお見舞い申し上げます。

村では、最大震度6弱となり、村内各地に大きな被害をもたらしました。その地震被害の状況について、村議会では調査を行い、実際に被害のあった現場を確認しました。今回の調査では、特に被害の大きかった5箇所の現場を重点的に調査しました。

地震の被害により出た大量のごみ置き場となった下松本地区では、様々なごみが持ち込まれていました。また、道路に大きな段差ができた滝田東2号線の被災状況なども担当課長より説明を受けました。

このような状況を受け、村議会でも早急な復旧が行われるよう、関係機関に働きかけを行ってまいります。



災害ごみ置き場を調査



滝田東2号線の被災状況を調査



▶ 「中型バス」を見学

令和3年3月29日

中型バスが納車され、車両を確認しました

令和2年9月定例会及び令和2年第4回臨時会で審議され可決された「中型バス」は、3月22日に納車されました。

3月29日の臨時会終了後、担当課長より説明を受け、車両外観や車中を見学しました。

この中型バスは、新型コロナウイルス感染症による感染防止を図りながら、各種事業へ安心して参加できるように、効率的な送迎を行うために購入されたものです。

ライトブルーの車体に花のイラストがあしらわれた41人乗りの中型バスです。新年度からの利用が大いに期待されます。



中型バスを見学しました



表紙の写真

暖かい日差しがあふれた4月2日(金)。村役場周辺で、満開になった桜を見ながら遊んでいる子供たちの一コマです。

初夏を感じさせる陽気に包まれたこの日は、子どもたちが元気に遊び回り、春を満喫していました。

今年の桜の開花は、例年より約2週間も早かったようですが、村内各地でも桜が咲き揃い、コロナ禍の中にあっても癒やされ和むことができた4月となりました。



あなたも議会を傍聴してみませんか？

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☎82-2101



議会のホームページをご覧ください

議会のホームページが開設されています。議会の概要、会議録(平成24年3月以降の定例会・臨時会)、議会だよりが掲載されています。



天栄村議会

天栄村ホームページトップ → 天栄村議会 をご覧ください。

<http://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/gikai/>

● 議会広報常任委員会

委員長 大須賀 洋仁
副委員長 大浦 トキ子
委員 渡部 和吉
委員 廣瀬 勉
委員 北畠 正

あの東日本大震災から10年が経過しました。10年前の3月11日は議会が前日で終わり、その日は中学校の卒業式でした。午前中に卒業式が終わり、午後2時46分、あの大地震が発生しました。本当に目を覆うばかりの大惨事でした。

今年はこの時間ちょうど3月定例会中でしたので、審議を中断して、全員起立の上、犠牲になられた2万数千人の方々に黙とうを捧げました。

また、今年は2月13日と3月20日にも大きな地震があり、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。特に2月の地震では村内にも数十か所の被害が出ました。その後も毎日のように余震が続いており、これからも引き続き気をつけて災害に備えなければなりません。

村民の皆様もいざという時に、避難場所はどこか、持っていく物は何かなど、常日頃から確認することを心がけましょう。

編集後記

